

2011年度

科目名	演習Ⅱ		
担当教員	宇都宮 啓吾		
配当	日文4	コード	24083
開期	通年	講時	火曜日4限
		単位数	4
授業テーマ	現代日本語の表現について考える		
目的と概要	現代日本語の表現について考えます。自分の言葉で説明できるようになってください。		
成績評価法	平常点(40%)とゼミ発表(60%)などを総合的に評価します。		
テキスト	特に指定しません。適宜、プリントを配布します。		
参考書	特に指定しません。適宜、紹介します。		
履修に当たっ ての注意・助言 /準備学習	準備学習(時間外学習):演習という形態上、発表に向けての準備は常に行なうこと。また、講義中に指示した課題を次の時間までに解決しておくこと。		
講義計画			
<p>演習形式をとります。最初の数時間については、教員の側で日本語を考える上での視点をいくつか紹介し、それに沿う形で講義と発表を行ないます。その後で、みなさんの演習発表へと移ります。発表については、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1、問題提起</li> <li>2、問題解決の方法</li> <li>3、問題解決の手続き</li> <li>4、結論</li> </ol> <p>という形で発表を望みますが、まずは、自分の考えを「ことば」にするところから始めてください。失敗も成功への第一歩。とにかく、「考える」ことを習慣づけてください。</p> <p>導入1 オリエンテーション卒業論文に向けて</p> <p style="text-align: center;">=====</p> <p>指導① 2 演習Ⅰの纏め演習Ⅰで研究した内容の文章化と発表  3 演習Ⅰの纏め演習Ⅰで研究した内容の文章化と発表  4 演習Ⅰの纏め演習Ⅰで研究した内容の文章化と発表  5 演習Ⅰの纏め演習Ⅰで研究した内容の文章化と発表  6 演習Ⅰの纏め演習Ⅰで研究した内容の文章化と発表</p> <p style="text-align: center;">=====</p> <p>指導② 7 具体的発表学生への個別指導  8 具体的発表学生への個別指導  9 具体的発表学生への個別指導  10 具体的発表学生への個別指導</p> <p style="text-align: center;">=====</p> <p>指導③ 11  ~  20 中間発表研究内容の文章化と問題の検討  (個別指導と全体発表)</p> <p style="text-align: center;">=====</p> <p>総括20  ~  30 卒業論文の試問卒業論文の試問</p>			